

普及活動情勢報告（令和3年6月分）

高吾農業改良普及所

スマート農業実証へ向けて！



佐川町スマート農業推進協議会が、自動除草機の実証が予定されている果樹園地について、6月2日にはほ場条件の現地確認を行いました。

協議会の代表農家4名、メーカー3名が参加し、実証する園地の面積や勾配、起伏等を確認し、自動除草機が走行可能か検討しました。

実証農家からは、自動除草機の刈り取りにかかる時間や走破性、機械の性能などについて質問があり、「思ったより有望そう」といった声が聞かれ、期待が高まっています。

普及所は、今後もスマート農業を活用した農作業の省力化技術の確立・普及を行うとともに果樹産地の安定生産に向けた取組を支援していきます。

夏秋ピーマンの収穫始まりました。



6月3日、JA越知支所ピーマン生産部会では現地検討会と目慣らし会を行い、15名の生産者の参加がありました。

雨よけハウスと露地の1カ所ずつで現地検討会を行い、それぞれの生育状況を確認しあいしました。普及所からは、樹勢の判断方法とその結果に基づいた栽培管理や今後の病虫害対策について助言指導を行いました。出席した生産者からは、「（現地ほ場の）肥培管理を参考にしたい」「自分のほ場は、現地ほ場よりも開花位置が上だ」といった反応がありました。

普及所は今後も、夏秋ピーマンの安定生産を目指し、個別巡回や講習会の開催により栽培技術指導を行っていきます。

JA日高支所オクラ生産部会の目慣らし会及び栽培講習会の開催。



6月7日、JA高知県日高支所選果場においてJA日高オクラ生産部会が目慣らし会及び栽培講習会を開催し、9名の生産者が参加しました。

普及所からは、収穫後に果実黒斑病の発生がみられるため対策等について助言指導を行いました。生産者からは、「この病気は収穫後の高温多湿条件で発病するらしいので、特に収穫後は果実を直射日光に当てないように気をつけよう」といった声がありました。

普及所は、今後もオクラの安定生産に向けて栽培管理や病虫害防除の指導を行っていきます。

HACCP研修を開催しました。



普及所では、5月26日、管内の生活改善グループを集め加工品を製造販売している3組織8名に対してHACCP研修を開催しました。中央西福祉保健所食品保健担当を講師に、HACCPについての基礎的な内容を聞いた後、菓子製造業の衛生管理計画作成の実習を行いました。出席者からは、「HACCPに基づいた衛生管理をしっかりと行っていきたい」との感想が聞かれました。

普及所は、これからも管内の生活改善グループ等に対して、HACCPへの取り組みを支援していきます。

「高吾農業改良普及所いちごだより」始めました！



この4月から普及所は「高吾農業改良普及所いちごだより」を管内イチゴ農家25戸に毎月配布しています。コロナ禍を機に毎月の作業内容に応じた指導を徹底するために実施しています。

6月22日にはJA佐川支所苺部会にいちごだより6月号を配布し、コナジラミ類などの害虫の侵入対策として防虫ネットの張り方や育苗管理について指導を行いました。農家からは「時期毎の作業に合わせた内容なのが良い。」「もう少し字が大きい方が見やすい。」などの意見が寄せられました。

これからも普及所では「いちごだより」を通じてイチゴの生産安定を支援していきます。